

▼目指す人材像

岩手県立大学の学士課程では、幅広い教養と国際感覚を備え、知識を柔軟かつ創造的に活用して主体的に行動できる人間を育成します。県立大学の強みを生かし、地域と連携した実践的教育を通して、産業経済、福祉医療、地域政策等の分野において専門知識を活用して課題解決に取り組み、豊かで活力ある社会の形成に貢献できる人材を輩出することを目指します。

ソフトウェア情報学部では、コンピュータサイエンスに立脚し、利用者の立場からシステムの設計・開発を行うことのできる高度な専門性や豊かな人間性、並びに、情報技術を用いて新たな価値やサービスを創出することのできる知的探求心と想像力を備え、地域社会と連携した実学・実践の教育研究を通して「人と情報技術が調和した豊かな社会」の発展・高度化に寄与する人材の育成を図ります。

そして、本学学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し、かつ、単位を修得した学生を、次に掲げる「学生が卒業までに身につけるべき能力」を備えたものとして、学位「学士（ソフトウェア情報学）」を授与します。

▼学生が卒業までに身につけるべき能力

- DP1: 数理・情報技術の分野に興味を持ち、人間や社会に及ぼす影響や効果を理解でき、技術者が負っている責任を感じることができる。（社会への関心）
- DP2: 利用者の立場からシステムへの要求を考え、数理・情報技術を用いて問題を解決する方法を提案することができる。（課題発見・解決能力、専門知識）
- DP3: 数理・情報技術とシステムに関する幅広い知識とスキルを修得し、技術者の立場から、それを活用した仕組みを企画・設計・開発・保守・運用することができる。（専門知識、幅広い教養）
- DP4: 様々な学びや体験の中から、自分の能力・適性を把握し、自主的・計画的・継続的に学習・研究を進めることができる。（自己研鑽力、幅広い教養）
- DP5: 論理的な文章を書き、自らの見解を分かりやすく伝達し、他者の意見を踏まえて議論することができる。（コミュニケーション能力）
- DP6: 知的探求心と想像力を持ち、絶えず発展し続ける情報技術へ柔軟に対応した専門性を自ら高めていくことができる。（自己研鑽力、専門知識）

ソフトウェア情報学部カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

▼学部の教育内容及び教育方法

岩手県立大学の学士課程教育では、卒業認定・学位授与の方針に掲げた共通の柱及び学部ごとに設定する能力の育成のため、基盤教育科目と専門教育科目を中心としたカリキュラムを編成・実施し、学生が主体的・能動的に学ぶことができるよう、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。

基盤教育科目は、大学での学習活動の基盤を支える学び【大学で学ぶ力をつくる】、地域・国際社会においてこれから必要とされる知識・技能を学び【生きる世界を知る】、そして、幅広く豊かな教養に基づく総合的な思考力・判断力を育成する【学問を知る・使う】ことを目的とし、以下のような科目群を開講します。

CP1: 基礎科目群

【大学で学ぶ力をつくる】大学での 4 年間の学び、また実社会に活用できるスキルの獲得と資質・能力・身体の育成を目指す科目として、「入門科目」「英語」「情報処理」「保健体育」を開講します。(DP4、DP5)

CP2: 教養科目群

【生きる世界を知る】それぞれの専門領域の知識・技術を活用する場としての「世界」を知ることを目指す科目として「地域教養」「国際教養」「データサイエンス教養」を開講します。(DP1)

【学問を知る・使う】それぞれの専門領域を学問全体（知の体系）の中に位置づけ、課題解決のための、他学問領域の「知」を活用できることを目指す科目として「基盤教養」「課題別教養」を開講します。(DP2)

ソフトウェア情報学部の専門教育科目では、ソフトウェア情報学の知識とスキルが身につく多彩な専門科目を体系的に学修するため、専門基礎科目、専門共通科目、関連科目、展開科目、キャリア学習科目、研究科目を階層的に編成し、下記 CP3～CP8 に示す方針で専門教育科目を配置しています。また、絶えず発展し続ける情報技術へ柔軟に対応した専門分野における人材を育成するため、複数のコースを設け、コース毎の学修に繋がる科目を配置します。そして、学部で学修した専門分野の知識とスキルをより発展させることができるよう、学部と研究科博士前期課程（修士課程）の接続を円滑にする一貫した教育カリキュラムを編成します。

これらの専門教育科目においては、個々の学生が各種の課題解決に向けて自らシステムの設定や環境構築を行い、必要なプログラムを開発できる情報端末を活用した授業を開講します。さらに、複数の情報端末を協調させて能動的な学習等を効果的に進めることができる IT 環境を利用した授業を開講します。

CP3: 初年次教育の充実を図り、専門への導入を円滑にするため、「専門基礎科目」を開講します。(DP3)

CP4: ソフトウェア情報学における幅広い専門知識を身につけるため、ソフトウェア・ハードウェアに関する基礎科目で構成される「専門共通科目」を開講します。(DP3、DP6)

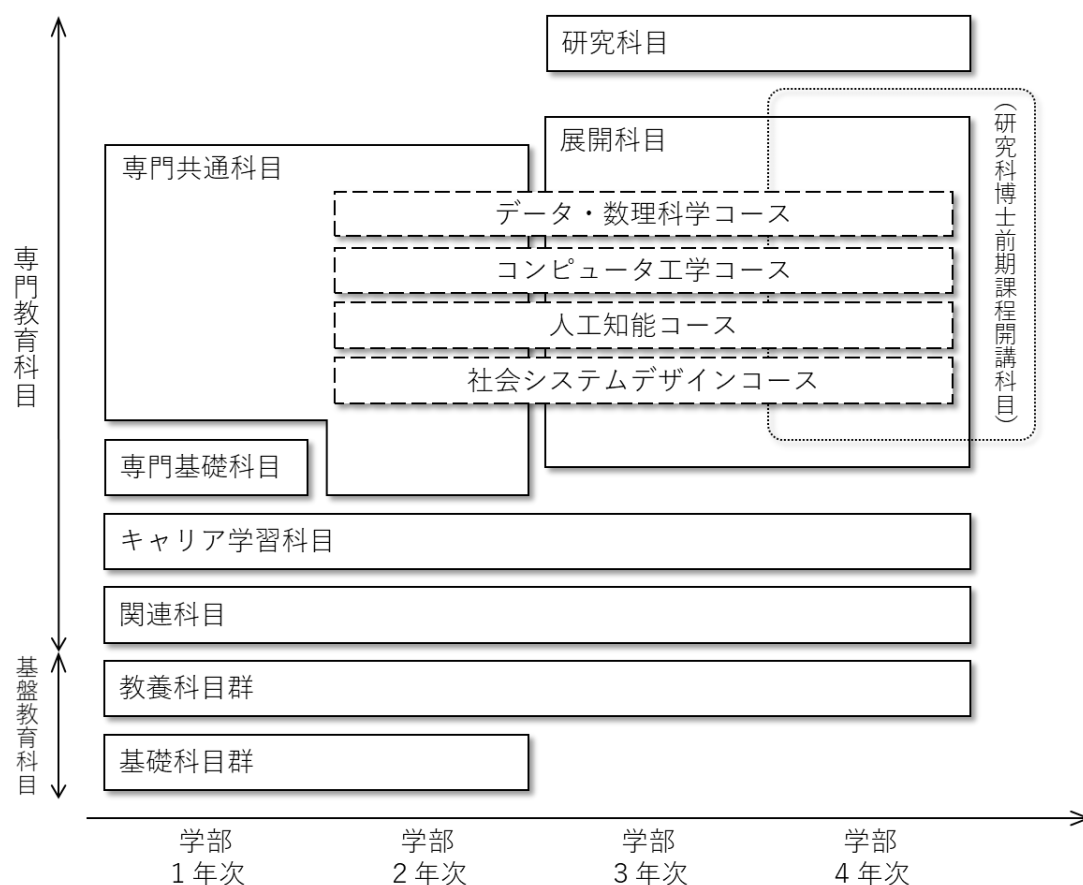
CP5: 人間や社会と情報技術を結びつけるための科目で構成される「関連科目」を開講します。(DP1、DP2、DP3、DP5)

CP6: 実践的なスキルを向上させるための多様な科目で構成される「展開科目」を開講します。(DP2、DP3、DP6)

CP7: 自己を磨き自らの進む進路を見つける科目と、チームで問題発見・解決する能力を養うための科目で構成される「キャリア学習科目」を開講します。(DP2、DP4、DP5、DP6)

CP8: 実践力養成のために少人数ゼミによる教育を重視した「研究科目」を開講します。(DP3、DP4、DP5、DP6)

■カリキュラム概要図



■各年次における学び

【1年次】社会への関心、幅広い教養

基盤教育科目、専門基礎科目、専門共通科目により、幅広い専門分野の知識・技術の基礎を網羅的に把握します。キャリア学習科目群においては、実践的に問題分析・問題解決の基礎を学びます。また、2年次におけるコース選択を念頭におき、授業や課外における調査を行います。

【2年次】専門知識、課題発見・解決能力

専門共通科目により、幅広い専門分野の知識・技術を深めるとともに、将来を見据えてコース指定科目および関連科目から選択し、自らの専門分野を深めます。キャリア学習科目群においては、1年次の経験を活かした問題分析・問題解決を実践します。また、3年次における研究室配属を念頭におき、授業や課外における調査を行います。

【3年次】課題発見・解決能力、コミュニケーション能力

展開科目により、自らの専門分野の知識・技術をより深めるとともに、4年次における研究テーマ選択を念頭におき、研究科目において、実践的に専門分野の知識・技術を修得します。キャリア学習科目群においては、上級生としてチームをまとめながら問題分析・問題解決に取り組めます。

【4年次】自己研鑽力、コミュニケーション能力

展開科目により、自らの専門分野の知識・技術をより深めるとともに、研究テーマを定め、主体的に推進します。